



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第12号 (H22.6.25)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



緊張と感動の1時間

～神柱神社神主 楡田さん～

6月21日に附属中の人権教育講演会が開催されました。講演者は、神柱神社宮司「楡田さん」に「人権」という大きなテーマで話をさせていただきました。楡田神主さんの言葉の中に、「命は大切なもの、自分だけのものではない、昔からつながってきたもの、私たちが生きていく上で、生きているものの命をいただかなければならない、だからこそ命を大切にしなければならぬ、そこに、神という、すべてを具体化したものがある、私たちは、常にありがとうという感謝をもたなければならぬ。……」ありました。今、口蹄疫で多くの動物が殺処分されています。私たちは、何を考えなければならぬのでしょうか。まさに、今日の楡田さんの言葉「命」は響くものではないでしょうか？
<命のアンケートから>

質問1: 「いのち」ということばから連想するもの？

動物・生物、両親・家族、食事、友だちなど

質問2: 連想したこと、あなたはどのように接していますか？

動物・生物…やさしく接している。共存

両親・家族…大切、感謝の気持ち

食事…ありがとう、命を頂いている

友だち…必要で大切。

穏やかな雰囲気での人権教育講演会



(親しい人への握手)

(お礼のことば: 橋口さん)

子どもたちに身につけさせたい習慣 III

筋道を立てて分かりやすく話す習慣



3つ目の習慣は「筋道を立てて分かりやすく話す習慣」です。分かりやすく伝える表現力を身に付けるためには、まず「話す」ことがよい練習になります。

たとえば、1日の学校でのできごとや、授業で分かったことを説明することから始めるとよいでしょう。その時、ただ、話をするのではなく、どうしたら分かりやすく伝わるか、また、何を中心に話すかなどを意識して話すことが大事です。聞いている皆さんも単に聞くだけでなく、いろいろ助言をすることです。単語で済ませるのではなく、普段から、分かりやすい表現を意識して話すことが、表現力を高めていくことにつながります。

(子どもたちに身につけさせたい8つの習慣より)

— 学 び 続 け る —

江戸時代の儒学者、貝原益軒が読書について次のようなことを言っています。「少年（若いとき）は読書に三利あり。一つに気力強くして多読してうむことなし。二つには暇多くして妨げなくして多読し易し。三つには年少なくして気盛んなれば記性強くしてそらんじ易し」と。意味は、若い時は、気力が充実しているから、たくさん本を読んでも飽きることがない。時間的にゆとりがあるから多くの本を読むことができる。また、記憶力が盛んだから内容をよく記憶することができる。これが「少年は読書について三利あり」の意味です。読書後の内容の理解や記憶の量、また、気力など私には随分心あたりがあります。しかし、読書好きの人は、老若男女を問わず長時間読むことは苦痛にならないのではないかと思います。先般、列車に乗っていると、20代位の人と30代位の人が並んで本を読まれていました。30代位の人が読みながら微笑んでらっしゃる姿を見ながら、こちらまでなんだか楽しくなりました。本校にも読書好きはたくさんいます。その人たちは、読書の魅力にとりつかれているのでしょうか。羨（うらや）ましく思います。

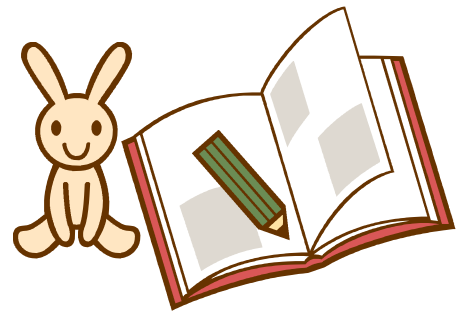
ある予備校の先生が、大学入試前の最後の授業で「インテリであること」という言葉を学生に贈られた話を紹介します。

「あなた方は大学を受験し、どこかの大学に合格する。しかし、長い目で見たときそれはたいしたことではない。私が、あなた方に願うことは、ただ一つ『インテリ』であることを願う。知的な人間であってほしい。私が言うインテリは、有名大学の学生とか卒業生ということではない。有名大学を出てもインテリではない人間も山ほどいるし、一流大学を出ていない人間の中にもインテリはたくさんいる。

では、インテリとは、本を読むことを忘れないこと。つまり学び続ける人。

学び続ける人は、人からの助言も謙虚に受けるし、仲間もたくさんできるからである。」と述べられたそうです。読みながら頷（うなず）いてしまいました。

今後、科学や技術はこれまで以上に発達します。そのことに伴って産業、職業、生活様式や価値観等も変化していきます。それらに対応するためには、学び続けることが必要になります。そのための大事な手立ての一つが読書だと思います。



口蹄疫 千羽鶴プロジェクト

泉ヶ丘家庭クラブ

6月22日に口蹄疫被災農家への支援並びに口蹄疫の終息を祈り、全校の防疫意識を高める目的に、本校の家庭クラブ員が中心となって、千羽鶴プロジェクトを進めてきました。このうちの三千羽を都城市役所に寄託しました。

口蹄疫義援金

本校は口蹄疫義援金として、都城泉ヶ丘高校・全日制・定時制附属中学校・職員一同で、8万1074円、贈りました。

現在は、生徒会が中心となって生徒たちが義援金活動を行っています。



月 行 事

6月30日(水)	期末テスト
～7月2日(金)	(5教科+音楽・美術・技術)
7月8日(木)	自然科学探究
7月13日(水)	クラスレクレーション
7月16日(金)	終業式・大清掃
7月21日(水)	サマーセミナー①(国・数・英)
7月22日(木)	サマーセミナー②(国・数・英)
7月23日(金)	サマーセミナー③(国・数・英)
7月26日(月)	サマーセミナー④(国・数・英)
7月27日(火)	サマーセミナー⑤(国・数・英)
8月3日(火)	日本音楽鑑賞(MJホール)
～8月4日(水)	
8月16日(月)	サマーセミナー⑥(国・数・英)
～8月20日	サマーセミナー⑩(国・数・英)